

| 資料提供 | |
|--------------|----------------------|
| 令和7年12月24日 | |
| 担当課 (担当者) | 感染症対策センター (彦岐・虎尾) |
| 電話 | 0857-26-7153 |

県内における水痘(みずぼうそう)注意報の解除

感染症発生動向調査における水痘(みずぼうそう)の集計速報値(令和7年第51週:12月15日～12月21日)で、下記のとおり全地区で注意報解除基準値である1定点当たり1人を下回ったことから、令和7年11月26日に発令した水痘注意報を本日解除しました。

県民の皆様におかれましては、引き続き、手洗い等を徹底し、感染対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

記

- 1 解除地区
鳥取県全域

- 2 令和7年第51週(12月15日～12月21日)

| 区 分 | 全県 | 東部地区 | 中部地区 | 西部地区 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 定点当たりの患者数 | 0.11 人 | 0.00 人 | 0.00 人 | 0.29 人 |
| 患者数 | 2 人 | 0 人 | 0 人 | 2 人 |

- 3 県民の皆様へのお願い
水痘注意報は解除となりましたが、引き続き、手洗い、消毒等の感染予防に心がけましょう。

＜参考＞

- (1) 注意報・警報について

以下の基準を参考に注意報・警報を発令・解除する。なお、基準値は、国に同じ。

| | 基準値 | 要件 |
|-----|------------------|---|
| 注意報 | 定点あたりの患者数 1 人 | 注意報開始基準値を超えた保健所の人口の総計が県全体の人口の 30%を超えた場合 |
| 警報 | 定点あたりの患者数 2 人 | 警報開始基準値を超えた保健所の人口の総計が県全体の人口の 30%を超えた場合 |
| 解除 | 定点当たりの患者数 1 人 | 警終息基準値を超える保健所の人口の総計が県全体の人口の 30%未満となった場合 |

《今回の例》

- 全地区での警報解除基準値1人を下回ったことから、解除基準を満たす。 ⇒ 注意報を解除する。
- 鳥取県の推計人口（鳥取県人口移動調査：令和7年12月1日現在）

| 地区 | 人口 | 人口割合 |
|------|-----------|-------|
| 東部地区 | 212,187 人 | 40,5% |
| 中部地区 | 92,004 人 | 17,6% |
| 西部地区 | 219,577 人 | 41,9% |
| 合計 | 523,768 人 | 100% |

- (2) 県内の小児科定点医療機関：19の医療機関（東部8、中部4、西部7）
- (3) 定点当たり患者数とは、1週間に伝染性紅斑で定点医療機関を受診した1定点当たりの患者数。
(例えば、県全体で19名の患者数報告があった場合、定点当たり患者数が1人となる)

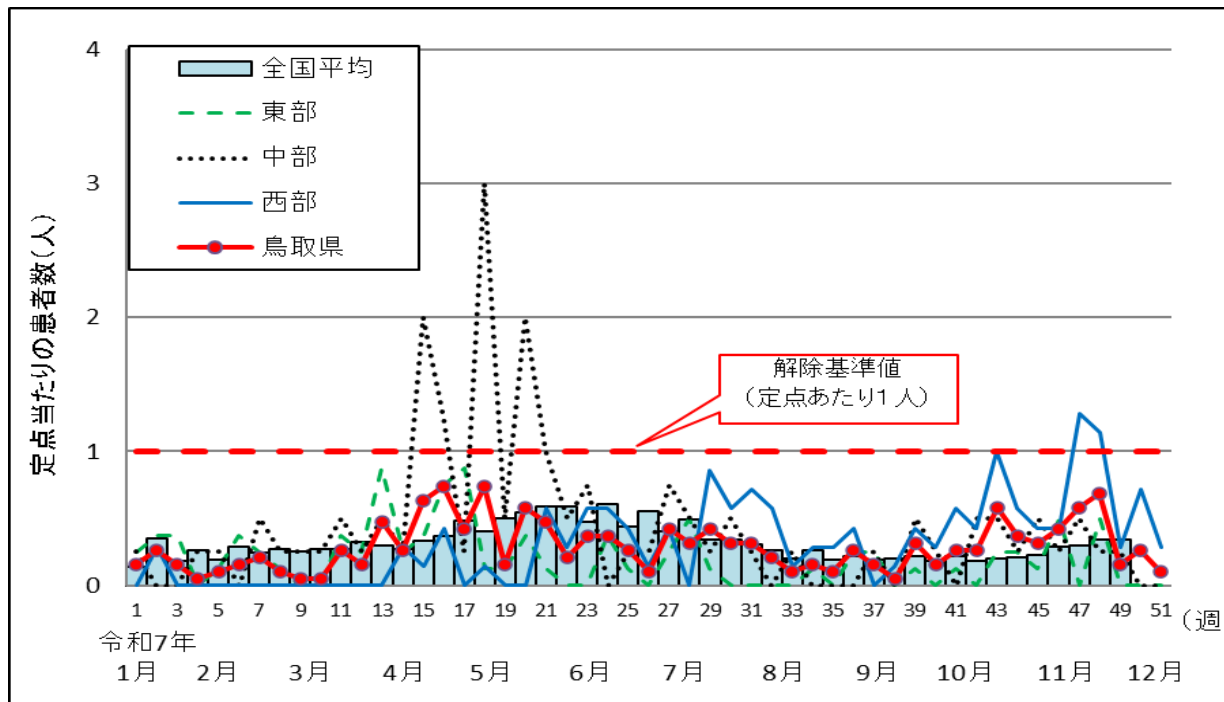
水痘の流行状況

1 鳥取県と全国の水痘患者発生状況(定点あたりの患者数、単位:人)

| | 10 月 | | | 11 月 | | | | 12 月 | | |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 週 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 |
| 鳥取県 | 0.26 | 0.58 | 0.37 | 0.32 | 0.42 | 0.58 | 0.68 | 0.16 | 0.26 | 0.11 |
| 全国 | 0.18 | 0.20 | 0.21 | 0.23 | 0.29 | 0.30 | 0.34 | 0.34 | 0.38 | 集計中 |

鳥取県の小児科定点医療機関は 19、全国の小児科定点医療機関は約 2000 あります。

2 地区別発生状況グラフ



3 県内年次別発生状況グラフ

